

旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の招致検討状況について

1 旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会（以下「委員会」）の設置

平成27年6月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設において、都市基盤整備の促進、地域の知名度やイメージの向上、更には国内外の先導的なまちづくり等に寄与する、国際園芸博覧会の招致検討を進めています。

本年6月には招致検討における基本的な構想をまとめるため、「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会設置条例」に基づき14名の有識者からなる委員会を設置しました。

2 委員会における検討状況

(1) 審議内容について

開催日	審議内容
第1回委員会 (平成29年6月5日)	横浜市や上瀬谷の現状を把握し、過去の博覧会や時代の潮流を踏まえた検討の視点についてご意見をいただきました。
第2回委員会 (平成29年7月10日)	開催意義・テーマの方向性、事業コンセプトの構成等についてご意見をいただきました。また、現地視察を行い、旧上瀬谷通信施設の広大な土地のほか、瀬谷駅周辺等の状況もあわせてご確認いただきました。
第3回委員会 (平成29年8月24日)	国有地を中心とした会場の考え方、全国都市緑化よこはまフェアの成果も踏まえた事業展開についてご意見をいただきました。

※ 委員会の資料と議事録はホームページで公開しています。

また、委員会の審議状況については、連合自治会町内会連絡協議会（旭区・瀬谷区）、瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会、上川井農業専用地区協議会、上瀬谷農業専用地区協議会にも説明しています。

(参考)

【開催意義・テーマの視点の例】

- ・国際博覧会の視点
- ・社会的な課題の視点
- ・まちづくり・地域・産業の視点
- ・時間軸の視点
- ・花・緑の領域の捉え方

【事業コンセプトの例】

「花」「緑」「農・食」「交流・シェア」を主なコンテンツとし、普遍性と先進性の視点から事業を構成

(2) 委員からの主なご意見について

- ・博覧会の開催により社会やまちづくりにより良い影響をもたらすことが求められる。
- ・上瀬谷のまちづくりとの関連性を念頭におく必要がある。
- ・米軍施設だったことを踏まえ、平和の大切さが伝わると良い。
- ・全国都市緑化よこはまフェアの成功を踏まえ、横浜市が実践してきた緑のまちづくりを世界に発信すべき。

3 今後のスケジュール

- ・第4回（9/27予定）：開催意義、基本事項等、事業展開、会場・行催事、関連事業
- ・第5回（10月予定）：基本構想【素案】として各項目をとりまとめ
- ・第6回（未定）：基本構想【横浜市案】として各項目をとりまとめ

委員会における審議とともに、地権者の皆様をはじめ市民・企業の皆様、市会、有識者、関係機関等のご意見を伺っていきます。

また、第5回でとりまとめる基本構想【素案】を基本として市民意見募集を行い、横浜市としての案を策定し、開催主体となる国に早期に正式要請していきたいと考えています。

(参考)

○国際園芸博覧会招致スケジュール（予定）

○国際博覧会の開催予定

年度	想定される主な取組
2016	招致検討（基本的な考え方の作成など）
2017 ～ 2019	検討組織の設置、基本構想（案）の作成、 国へ招致の正式要請、政府における検討 AIPH(国際園芸家協会)に花博開催申請・承認
2020	閣議了解⇒BIE(博覧会国際事務局)に花博開催申請・承認
2021	閣議決定⇒BIE(博覧会国際事務局)に登録、博覧会協会設立 会場計画・整備、参加招聘
2026	国際園芸博覧会（花博）の開催

年度	国際園芸博覧会 国際博覧会（認定博）	国際博覧会（登録博）
2015		ミラノ万博
2016	トルコ:アンタルヤ	
2019	中国:北京	
2020		ドバイ万博
2022	オランダ:アルメール	
2025		大阪他で申請中
2026	横浜開催の想定	

※太字は横浜市が主体的に行うこと